

登録日 2015/6/22

レジメン名 Gas021

腫瘍名 胃がん

申請医師 消化器内科

投与スケジュール

PTX+RAM				28日毎 × PDまで					
				1コース		2コース		(day)	
				1	8	15	22	29	...
①	デキサート	6.6 mg	点滴 15分	↓	↓	↓		↓	
	ポラミン	5 mg		↓	↓	↓		↓	
	ファモチジン	20 mg		↓	↓	↓		↓	
	生理食塩水	50 mL		↓	↓	↓		↓	
②	サイラムザ	8 mg/kg	点滴 30分	↓		↓		↓	
	生理食塩液	250 mL		↓		↓		↓	
	初回60分、2回目以降30分に速度短縮可								
③	生理食塩液	50 mL	点滴 5分	↓		↓		↓	
	サイラムザ投与後フラッシュ(全開投与可)								
④	パクリタキセル	80 mg/m ²	点滴 60分	↓	↓	↓		↓	
	5%ブドウ糖液	250 mL		↓	↓	↓		↓	
⑤	生理食塩水	50 mL	点滴 5分	↓	↓	↓		↓	
	パクリタキセル投与後フラッシュ(全開投与可)								

注意事項

- 胃癌二次治療から適応可能。
- インフュージョンリアクションの発現確認目的に最初の2サイクルは投与後1時間の観察期間を設ける(パクリタキセル併用時)。
- Grade1, 2のインフュージョンリアクションが出現した際、カロナールの追加やデキサートの増量、減速なども考慮する。
- サイラムザの溶解液は生食のみ使用(ブドウ糖と配合変化あり)。フィルターを使用する。
- サイラムザは室温保存(30℃以下)では4時間以内、冷所保存(2~8℃)では24時間以内に使用する。
- サイラムザには創傷治癒遅延作用があり、創傷治癒に影響する合併症の際には使用を中止する。
- パクリタキセルの投与には、JMSニトログリセリン用点滴ライン、0.22 μmのメンブランフィルターを使用すること。(「JMS輸液セット PVCフリー IVF ポンプ兼用(型番JP-PF320RL11)」)
- 減量、休薬基準(サイラムザ)
 - 高血圧: 症候性のGrade2、Grade3 はサイラムザを休薬する。
 - 蛋白尿: 1日蛋白尿2g以上は休薬。初回発現して再開時は6mg/kgへ減量、2回目発現後の再開時は5mg/kgに減量。1日蛋白尿3g以上又はネフローゼ症候群は投与中止。

参考文献

- Hansjochen Wilke, et al, Ramucirumab plus paclitaxel versus placebo plus paclitaxel in patients with previously treated advanced gastric or gastro-oesophageal junction adenocarcinoma (RAINBOW): a double-blind, randomised phase 3 trial, *Lancet Oncol*, 15, 1224-1235 (2014).
- サイラムザ添付文書
- サイラムザ総合製品情報外用